

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）**  
**- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -**

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
2. (社)恩賜財団 母子愛育会	3, 8, 9, 12, 15, 19, 28, 33, 44, 45	<b>研修会「母子保健専門指導員研修会」</b> <b>リプロダクティブヘルス</b> <b>母子保健サービス</b> <b>児童虐待への対応</b> 目的：母子保健の課題と最新情報の修得、問題点の的確な把握及び対応能力の向上 対象：自治体勤務の保健師、助産師、看護師等母子保健関係者 98名（延 開催数：3回） 効果：母子保健の課題と最新情報に関する知識・技術の修得により、母子保健専門指導者の育成に寄与		
5. 子どもの心・体と環境を考える会	その他（思春期の健康教育に関する学際的なエビデンスの集積）	<b>研究会誌「子どもの健康科学」第4巻2号発行</b> 目的・内容：第2回テーマ別研究会（「研究方法立案ベーシック」質的研究）について、演者が論文化した研究会誌を作成 対象：本会会員（医療・教育・福祉・その他の多分野に及ぶ）に配布。一部の図書館に謹呈 配布数：350部を発行、配布 効果：実証的研究の基礎となる方法論について、それぞれの立場において認識を高めることができた	その他（思春期の健康教育に関する学際的なエビデンスの集積）	<b>研究会誌「子どもの健康科学」の発行（第5巻2号・第6巻1号）</b> 目的・内容：第5巻2号は「ストレスマネジメント教育」軽度発達障害」に関するテーマ別研究会の報告を含む予定。第6巻1号は第7会学術大会特集を予定。 対象：本会会員（医療・教育・福祉・その他の多分野に及ぶ）に配布し、一部の図書館に謹呈予定 配布数：350部を発行、配布
	その他（思春期の健康教育に関する学際的なエビデンスの集積）	<b>第6回学術大会開催 メインテーマ：子どもの心・体と環境をもっと健康にしよう</b> 目的・内容：平成17年12月3日（土）4日（日）、奥山真紀子大会長（国立成育医療センター：こころの診療部長）の下で開催予定。シンポジウム・特別講演・セミナーを企画し、一般演題も募集する 対象：本会会員と非会員。医療・教育・福祉・その他の多分野から、のべ300人の参加を見込んでいる 開催数：1回	その他（思春期の健康教育に関する学際的なエビデンスの集積）	<b>第7回学術大会開催</b> 目的・内容：平成16年12月4日（土）6日（日）、長嶋正實大会長（あいち小児保健医療総合センター：センター長）の下で開催。シンポジウム2つ 講演2つ 一般演題18題の他、研修会が行われた。 対象：本会会員に加え、非会員も参加。医療・教育・福祉・その他の多分野に及び、のべ300人が参加した 開催数：1回 効果：思春期の健康教育（学校と連携した喘息教育、ストレスマネジメント）に関する演題発表が行われ、発表者と参加者の間で積極的な討論がなされた
	その他（思春期の健康教育に関する学際的なエビデンスの集積）	<b>研究会誌「子どもの健康科学」第5巻1号発行</b> 目的・内容：昨年度第5回学術大会の講演およびシンポジウム（「子どもの危機を突破せよ」生き生きとした子どもを育む環境作り）について演者が論文化した研究会誌を作成 対象：本会会員（医療・教育・福祉・その他の多分野に及ぶ）に配布。一部の図書館に謹呈 配布数：350部を発行、配布 効果：前回大会で報告された実践や知見を、学会誌の形で広く伝達することができた	その他（思春期の健康教育に関する学際的なエビデンスの集積）	<b>テーマ別研究会の開催</b> 目的・内容：平成17年4月に第3回を開催（テーマは「ストレスマネジメント教育」軽度発達障害）。平成17年度中に第4回も開催予定（テーマ未定） 対象：本会会員と非会員。医療・教育・福祉・その他の多分野から、各回50人の参加を見込んでいる 開催数：2回

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）**  
**- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -**

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
7. (財)性の健康医学財団	3, 9	<b>コンドーム普及のための研究会</b> 目的・内容：「どうしたら、若者たちにコンドームを普及させることができるか」を検討する。 対象：教育・保健・医療関係者等 110名 開催数：1回開催（6月29日、東京文京シビックセンター） 効果：ユニークな性教育やSTD/HIV予防活動の実践報告により、コンドーム普及のための新たな視点を提供した。	3, 9	<b>専門医による匿名、無料相談「性の健康相談室」</b> 目的・内容：性の悩みや性感染症についての相談、検診、啓発を通してSTD/HIV感染の発見・予防啓発に努め、感染の蔓延を防止する。 対象：若い人たちを中心とする。 開催数：週2～3回実施
	3, 9	<b>第4回性の健康週間市民公開講座「性感染症・エイズ - 知ろう 話そう 予防しよう」</b> 目的・内容：若い人たちの性感染症予防のために、性の健康医学思想の普及啓発を集中的に行う。 対象：教育・保健・医療関係者、一般市民等、100名 開催数：1回開催（11月27日、東京都豊島区立生活産業プラザ） 効果：性感染症およびエイズの実態や若い人たちの性行動について、最新の情報を知らせることができた。	3, 9	<b>Eメール「性の健康相談」</b> 目的・内容：Eメールによる性の悩み相談に応じ、抱えている問題を明らかにし、効果的な性感染症予防啓発方法を検討する。 対象：若い人たちを中心とする。 開催数：週3日実施
	3, 9	<b>第4回性の健康週間（平成16年11月25日～12月1日）ポスター</b> 目的・内容：若い人たちの性感染症予防のために、性の健康医学思想の普及啓発を集中的に行う。 対象：国、各自治体、保健所、関係団体 配布数：1,000部 効果：性感染症予防の意識を高め、関心を集めた。	3, 9	<b>第5回性の健康週間市民公開講座</b> 目的・内容：性の健康に関する啓発活動を推進し、性感染症予防に貢献する。 対象：一般市民 開催数：1回開催
	3, 9	<b>リーフレット「STDとかエイズのこと知ってる？」</b> 目的・内容：一般市民向けに性感染症の予防／啓発を目的とする。 対象：国、各自治体、保健所、関係団体 配布数：20,000部 効果：イラストや漫画を多用し、分かり易く性感染症予防を啓発したので、若い人たちに好評だった。	3, 9	<b>性感染症市民公開講座</b> 目的・内容：性感染症の予防啓発を目的とし、一般市民の意識を高める。 対象：一般市民 開催数：1回開催
	3, 9	<b>個別相談・検診「性の健康相談室」</b> 目的・内容：性の悩みや性感染症についての相談、啓発、検診を通してSTD/HIV感染の発見・予防啓発に努め、感染の蔓延防止に貢献する。 対象：ホームページの案内や保健所の紹介により来訪した相談者。112名（男性53名・女性59名）/年 開催数：週2～3回実施 効果：性感染症で医療機関を受診することが高いハードルとなっていた若い人たちの受け皿となり、予防啓発に貢献できた。	3, 9	<b>パンフレット</b> 目的・内容：性感染症の予防啓発を目的とする。 対象：国、都道府県、政令市、保健所および関係団体 配布数：年1回配布

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）**  
**- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -**

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
7. (財)性の健康医学財団	3, 9	<b>Eメール「性の健康相談」</b> 目的・内容 若い人たちが手軽に利用するEメールを使い、性の悩みに対応し、悩みや問題点を明確化し、効果的な性感染症の予防啓発の方法を検討する。 対象 ホームページ、メッセージカード、リーフレットの案内によりEメールを送信した相談者。3,614件/年 開催数 週3日実施 効果 相談者への適切な助言・指導を行うことにより、今後の性感染症の予防啓発活動遂行上提供すべき情報を明確化できた。	3, 9	<b>メッセージカード</b> 目的・内容 性感染症の予防啓発を目的とする。 対象 国、都道府県、政令市、保健所および関係団体 配布数 年1回配布
			3, 9	<b>第5回性の健康週間ポスター</b> 目的・内容 性感染症予防のために、性の健康医学思想の普及啓発を集中的に行う。 対象 国、都道府県、政令市、保健所および関係団体 配布数 年1回配布
13. 全国助産師教育協議会	2, 3, 8, 9 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進に関する助産師教育の検討	<b>第40回全国助産師教育協議会総会 (H.16.5.21~22)</b> 目的・内容 委員会報告として 助産師教育における避妊法・経口避妊薬に関する教育の検討結果を報告した。 対象者 全国の助産師教育関係者 参加者 147名 開催数 年1回 効果 助産師教育における思春期教育に関する内容や、受胎調節実地指導員に関する教育内容について認識を高めることができた。	2, 3, 8, 9 助産師教育内容の検討	<b>総会の開催・委員会活動報告 2005.5.21-22</b> 目的・内容：思春期の保健対策の強化と健康教育の推進に関する助産師教育の検討 対象 全国助産師教育関係者 機関会員数 90校 個人会員数 347名
	2, 3, 8, 9 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進に関する助産師教育の検討	<b>全国助産師教育協議会NEWS LETTER No46 2005.2.25</b> 目的・内容 関連記事「母体保護法第39条に関する活用状況と要望 受胎調節実地指導に関する実態調査結果より」(大分県立看護科学大学 宮崎文子氏)を掲載した。 対象者 全国の助産師教育関係者 配布数 NEWS LETTER年4回発行 発行部数500部 効果 助産師教育における思春期教育に関する内容や、受胎調節実地指導員に関する教育内容について認識を高めることができた。	2, 3, 8, 9 助産師教育内容の検討	<b>NEWS LETTERの発行</b> 目的・内容 関連記事の掲載 対象 全国助産師教育関係者 機関会員数 90校 個人会員数 347名 配布数 : 500部
	2, 3, 8, 9 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進に関する助産師教育の検討	<b>共催事業 避妊と性感染症予防のための実践セミナー (主催：日本家族計画協会)</b> 効果 助産師教育における思春期教育に関する内容や、受胎調節実地指導員に関する教育内容について認識を高めることができた。		

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）**  
**- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -**

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
18. 全国養護教諭連絡協議会	5, 6, 7, 9, 11	<b>研修会「保健学習の進め方」 「カウンセリング能力向上のための研修」</b> 目的・内容 保健学習における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の効果的な進め方を修得する。健康相談活動強化のためのカウンセリング能力の向上を図る。 対象 養護教諭等 200名 開催数 2回開催(国立オリンピック記念青少年総合センター) 効果 保健学習の効果的な指導法を修得できた。カウンセリングの基礎的な理論や技法への認識や能力を高めることができた。	5, 6, 7, 10, 11, 12	<b>研修会「保健学習の指導法」 「カウンセリングの研修」</b> 目的・内容 効果的な保健学習の指導法の修得を図る。カウンセリング能力の向上を図る。 対象 養護教諭等 200名 開催数 開催予定 2回
20. (社)日本医師会	6	<b>WHO神戸センタ-世界禁煙デー 展示イベント 平成16年5月26日～6月4日 禁煙啓発パンフレット展示・パンフレットの配布</b> 効果 禁煙の重要性について国民に普及・啓発することができた。	6	<b>喫煙防止ビデオの監修 喫煙防止の絵本の作成</b> 目的・内容 未成年者の喫煙防止
	10	<b>学校保健委員会開催</b> 目的・内容 学校医による健康教育の実践について検討 対象 委員19名 開催数 4回開催	10	<b>学校保健委員会を開催</b> 目的・内容 学校医による健康教育の実践について検討 対象 委員19名 開催数 4回開催予定
	10	<b>平成16年度学校医講習会を開催 平成17年2月26日(土)</b> 目的・内容 学校におけるリスクマネジメント、各科専門医の学校保健活動 対象 日本医師会会員である学校医 参加人数 約300人 開催数 1回開催 効果 学校医に学校保健活動についての認識を高めることができた。	10	<b>平成17年度学校医講習会を開催予定 平成18年2月18日(土)</b> 対象 日本医師会会員である学校医 参加人数 300人を予定
	10	<b>第35回全国学校保健・学校医大会を開催(福島県) 平成16年10月30日(土)</b> 目的・内容 地域で考えよう子どもの健康 生き生き子ども達との共生をめざして 対象 都道府県医師会関係者および学校医 参加人数 約650人 開催数 1回開催 効果 学校保健関係者が全国から一堂に会して、交流することにより、学校保健・学校医活動の活性化を図ることができた。	10	<b>第36回全国学校保健・学校医大会を開催予定(滋賀県) 平成17年11月12日(土)</b> 目的・内容 子どもたちの健やかでこころ豊かな成長を願って 対象 都道府県医師会関係者および学校医 参加人数 650人を予定 開催数 1回開催予定

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）**  
**- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -**

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
20. (社)日本医師会	10	<b>各科専門医の学校保健活動に関する実践研究事業の実施</b> 目的・内容 学校現場におけるいじめや不登校などの心の問題、性の逸脱行為、スポーツ障害、アレルギー疾患などの課題について、精神科医、産婦人科医、整形外科医、皮膚科医の協力が不可欠であることから、全国で5か所に委託し、研究事業を実施 効果：（現在継続実施中）	10	<b>各科専門医の学校保健活動に関する実践研究事業の実施</b> 目的・内容 学校現場におけるいじめや不登校などの心の問題、性の逸脱行為、スポーツ障害、アレルギー疾患などの課題について、精神科医、産婦人科医、整形外科医、皮膚科医の協力が不可欠であることから、全国で6か所に委託し、研究事業を実施する予定。
22. (社)日本家族計画協会	8	<b>セミナー「参加者がつくる、産婦人科医のための緊急避妊実践セミナー」</b> 目的・内容 緊急避妊の実際と普及啓発 対象 産婦人科医、コメディカル 開催数 :1回 (東京) 効果 産婦人科医及びコメディカルが避妊の重要性について認識を高めた。	2, 3, 8	<b>講習会「第90回受胎調節実地指導員認定講習会」</b> 目的・内容 家族計画 受胎調節の考え方及び避妊の実際 対象 助産師 保健師 看護師150名 開催数 :1回 (東京)
	2, 3, 8, 9	<b>セミナー「明日から役立つ「性」の健康教育セミナー ～避妊と性感染症予防をテーマに～</b> 目的・内容 避妊の重要性と性感染症の予防について具体的指導の習得 対象 医師及びコメディカル 開催数 8回 (大阪、沖縄、宮城、北海道、福岡、愛知、広島、東京) 効果 避妊の効果的な方法と性感染症の予防の方法を習得。	2, 3, 8, 9, 10, 11, 12	<b>セミナー「指導者のための避妊と性感染症予防セミナー」</b> 目的・内容 人工妊娠中絶の防止と性感染症のために地域と学校関係者の連携を進める 対象 産婦人科医、コメディカル、学校関係者 開催数 :7回 (北海道、宮城、愛知、広島、福岡、大阪、東京)
	8, 9	<b>受胎調節実地指導員認定講習会</b> 目的・内容 母体保護法による「受胎調節実地指導員」の育成 対象 保健師 助産師 看護師 開催数 :1回 (東京) 効果 受胎調節の専門家を育成し、正しい情報と新しい知識の普及のためのマンパワーの育成。	2, 3, 8, 9	<b>セミナー「第一線の産婦人科医とコメディカルのためのOC啓発セミナー」</b> 目的・内容 OC (Oral Contraceptive) の正しい情報と効果的な使用について習得 対象 医師、コメディカル 開催数 9回 (大阪、東京、宮城、大阪、新潟、福岡、北海道、広島、愛知)
	全般	<b>平成16年母子保健家族計画全国大会 (健やか親子21全国大会)</b> 目的・内容 「健やか親子21」を推進するための全国大会 対象 行政関係者 医師・コメディカル及び、健やか親子21の推進関係者 開催数 :1回 (宮城) 効果 健やか親子21の推進のための啓発になった。	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 13	<b>思春期クリニック活動</b> 目的・内容 思春期の子どもたちの精神的・肉体的な健康教育のクリニック活動 対象 思春期の子ども 開催数 外来 毎週2回 (火 金) 毎月1回 (土)

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）**  
**- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -**

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
22.(社)日本家族計画協会	13	<b>思春期クリニックの運営</b> 目的・内容:思春期の子どもたちの専門クリニック 対象:思春期の子ども(男・女) 開催数:毎週2回(火・金)月1回(土) 効果:思春期の専門クリニックとして利用が高い。	2, 3, 4, 8, 9, 21, 22, 29, 30	<b>電話相談「女性のための健康ホットライン」、思春期「FPホットライン」、不妊ホットライン」、OCサポートコール」</b> 目的・内容:思春期の精神的・肉体的な問題に対する悩み相談及び、一般婦人の健康問題に対する悩み相談 対象:思春期の子ども及び一般 開催数:毎週月～金 10:00～16:00
	1～9	<b>電話相談「思春期「FPホットライン」、不妊ホットライン」、女性のための健康ホットライン」、OCサポートコール」</b> 目的・内容:思春期問題全般、避妊・性感染症、悩みごと全般 対象:思春期の子ども及び一般(男・女) 開催数:毎週月～金 10:00～16:00 効果:全国より相談が入り、子どもたちの不安の解消や、正しい知識の提供と啓発が出来た。	13	<b>「思春期地方クリニック」の運営</b> 目的・内容:思春期問題全般に関して、全国どこでも相談や診療が受けられるクリニックの設置 対象:思春期の子ども 開催数:全国30ヶ所
	13	<b>「思春期地方クリニック」の運営</b> 目的・内容:思春期専門のクリニックを全国20ヶ所に設置して、思春期問題の解決を図る 対象:思春期の子どもたち 開催数:随時 効果:思春期専門外来により、子どもたちの不安の解消と、正しい知識の習得。	全般	<b>平成17年母子保健・家族計画全国大会(健やか親子21全国大会)</b> 目的・内容:「健やか親子21」の普及啓発 対象:「健やか親子21」の推進関係者 開催:奈良
	1, 2, 8, 12	<b>セミナー「思春期ピアカウンセリングセミナー「コーディネーター」「ピアカウンセラー」</b> 目的・内容:ピア(仲間)カウンセラーの養成と指導者養成 対象:若者 開催数:4回(東京) 効果:思春期の子どもたちへの知識の普及には、ピアカウンセリング手法が効果的であることが位置づけられた。	1, 2, 8, 12	<b>第3回思春期保健相談士学術研究大会</b> 目的・内容:思春期保健相談士の最新情報の習得の場であり、また、活動報告を行い、全国ネットワーク化を図る 対象:思春期保健相談士及び、医師、学校関係等 開催数:1回(千葉)
	全般	<b>思春期保健相談士学術研究大会</b> 目的・内容:「思春期保健セミナー」修了者を対象に、全国での思春期保健事業の進め方についての発表 対象:思春期保健事業関係者 1,401名 開催数:1回(東京) 効果:全国に思春期保健相談士のネットワークの構築が出来始めた。	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 13	<b>思春期保健セミナー(、、、上級コース)</b> 目的・内容:思春期保健相談士の養成セミナー 対象:コメディカル、学校関係者 開催数:8回(コース3回、コース2回、コース2回、上級コース1回)

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）**  
**- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -**

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
22. (社)日本家族計画協会				<b>JFPA 若者委員会 (U-COM)への活動支援</b> 目的・内容: 思春期問題について、仲間 (ピア) の啓発活動により、正しい知識普及を図る 対象: 24歳までの若者 開催数: 街頭啓発活動、学園祭などでの啓発活動
			1, 2, 8, 12	<b>セミナー 思春期ピアカウンセリングセミナー (コーディネーター研修会 及び ピアカウンセラーセミナー)</b> 目的・内容: 思春期保健の推進には、ピアカウンセリングの手法が効果的であり、その指導者の養成を目的とする 対象: 指導者の養成者、ピアの養成者 等。学生及びコメディカル 開催数: 4回 (東京)
			テーマは未定だが、1～4の課題の中から選ぶ	<b>研修会 「ブロック別母子保健事業研修会」</b> 目的・内容: 母子保健事業の諸問題について、研究討議を行い、母子保健指導者の資質向上を図る。 開催数: 5回 (北海道、栃木、石川、鳥取、長崎)
23. (財)日本学校保健会	5, 6, 7	<b>薬物、喫煙、飲酒防止のパンフ、ポスター、指導資料の配布</b> 目的・内容: 薬物、喫煙防止に関するポスター、パンフを児童生徒に配布するとともに、薬物、喫煙、飲酒防止資料を教員に配付することにより、その有害性についての知識の普及啓発を図る。 対象: ポスター (小学校)、パンフ (小、中、高の児童生徒)、指導資料 (小 高の教諭) 配布数: ポスター (薬物・喫煙) 全小学校、パンフ 小、中、高の児童生徒約 430万枚、指導資料 約 4万冊 効果: 子どもたちに薬物等の有害性について理解を深め、教師には薬物等の効果的な指導を実施するための参考資料となった。	10	<b>「学校保健委員会」の活性化のための表彰制度</b> 目的・内容: 子どもたちの健康増進を推進するためには、学校内のみならず、地域等との連携が不可欠なため、その推進組織である学校保健委員会の活性化を図る。 対象: 小・中・高 特殊教育諸学校 開催数: 85校程度 (推薦校)
	9	<b>エイズに関するポスター、パンフの配布</b> 目的・内容: エイズポスター、パンフを配布することにより 児童生徒にエイズの知識の普及啓発を図る。 対象: ポスター (小学校)、パンフ (中 高校生) 配布数: ポスター 全小学校、パンフ 中 1全員 高 1全員 効果: エイズに関する教材として活用することにより、その理解を深めることに資した。	12	<b>子どもたちの心の問題の検討</b> 目的・内容: 子どもたちの心の問題に対応するため、養護教諭の相談活動を中心とした効果的な学校ネットワークづくりを目指す。このための指導書等の作成を検討。 対象: 上記と同様 開催数: 実態調査を行う。3年計画の2年次

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）**  
**- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -**

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
23. (財)日本学校保健会	10	<b>「学校保健委員会」の活性化のための表彰制度</b> 目的・内容：子どもたちの健康増進を推進するためには、学校内のみならず、地域等との連携が不可欠なため、その推進組織である学校保健委員会の活性化を図る。 対象：小・中・高 特殊教育諸学校 対象校（推薦数）：82校 効果：各学校に学校保健委員会の設置の促進と開催回数の増などの活性化に寄与した。		
	12	<b>子どもたちの心の問題の検討</b> 目的・内容：子どもたちの心の問題に対応するため、養護教諭の相談活動を中心とした効果的な学校内ネットワークづくりを目指す。このための指導書等の作成を検討。 対象：上記と同様 開催数：委員会開催 11回 効果：審議中（継続事業）3年計画の初年度		
24. (社)日本看護協会	6	<b>パンフレット『Stop Smoking！～やめた人からキレイになれる～』の作成</b> 目的：看護者および看護学生に対する禁煙教育を推進する。 対象：会員所属施設（会員数に応じて1～30部）都道府県看護協会（会員数に応じて50～200部）看護系教育機関（各2部）等に配布後、委託販売を実施 開催数：40,000部配布 効果：看護者および看護学生に対する禁煙教育の実施数が増加した。	2～9, 60	<b>中高生と「看護の日」をつなぐキャンペーン ライブコンサート ラジオ番組の放送 1日まちの保健室</b> 目的：性の問題、エイズ、禁煙、アルコールダイエットなど若者に特有な健康課題に焦点を当てながら、自分の身体に対する興味や健康に対する気づきを喚起する 内容：ライブコンサートやトーク、本会のCM 全国の放送局で特別番組（30分）や特別企画番組（1時間以上）を放送 思春期を対象にした健康チェック、体験、健康相談等 対象：一般（特に中高生） 開催数：1日 30分～7時間30分（放送局により異なる） 1日
	6	<b>研修会「禁煙支援リーダー研修会」の開催</b> 目的：看護者が主体的にたばこ対策を推進するために必要な知識・技術を修得し、就業施設や地域保健での組織的な取り組みの企画・実践 評価をすることのできる人材を育成する。 対象：平成16年10月4～6日 看護教育・研究センター（参加者34名）平成17年2月21～23日 神戸研修センター（参加者46名） 開催数：3日間×2回 効果：看護者および看護学生の禁煙支援に対する組織的な取り組みが活性化した。		



**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）**  
**- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -**

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
24.(社)日本看護協会	6	<p><b>「たばこ規制枠組条約発効記念の催し」の開催（日本医師会等との共催）</b>            目的：たばこ規制枠組条約の発効を記念し、たばこを取り巻く様々な問題に取り組む諸団体が広く連携することで、今後のわが国の子ども・思春期児童の健全育成および国民の健康づくり対策の進展と世論形成を推進する。            内容：未成年者喫煙の現状と課題に関する発表、禁煙推進と未成年喫煙防止のための連携と戦略に関するスライドショー等            対象：平成16年11月27日 日本医師会館（参加者314名）            開催数：1日            効果：未成年者の喫煙問題に関する現状と課題を知り、問題解決の糸口を得ることができた。</p>		
	9	<p><b>パンフレット「看護師が知っておきたい性の基礎知識 - 思春期保健に向けて - 」の作成</b>            目的：思春期教育活動に対する看護師の意識向上を図り、普及啓発の参考資料とする。            対象：都道府県看護協会（各50部）、助産師会所属医療施設（会員数に応じて1～6部）、その他関連団体等に配布            開催数：10,000部配布            効果：看護師による思春期教育活動の重要性が認識され、実施数が増加した。</p>		
	その他	<p><b>研修会「現代の思春期と青年期のこころ」の開催</b>            目的：社会的現象である現代の思春期と青年期の若者の心理を理解する。            対象：平成16年7月10日 神戸研修センター（参加者52名）            開催数：1日間×1回            効果：思春期の心理に対する理解が深まり、看護の質の向上に寄与した。</p>		
	その他	<p><b>研修会「学校保健教育～思春期のこころと身体の発達～」の開催</b>            目的：思春期の若者について心身の成長発達を理解し、その健康問題の対応について考える。            対象：平成16年8月3～4日 神戸研修センター（参加者16名）            開催数：2日間×1回            効果：思春期の若者の健康問題に対する理解が深まった。</p>		

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）**  
**- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -**

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
25 .日本公衆衛生学会	6	<p><b>論文投稿「日本公衆衛生学会における喫煙対策の取り組み」医学書院「公衆衛生」第68巻12号(2004年12月号)に掲載</b></p> <p>目的・内容 全国の公衆衛生関係者に対して、平成15年度に本学会が発表した「たばこのない社会の実現に向けた行動宣言」の周知を図り、関係者に基本方針に基づく行動を働きかけた。</p> <p>対象 上記の雑誌購読者</p> <p>効果 本学会の会員以外の公衆衛生従事者に対して、行動宣言の内容をPRすることができた。</p>	6, 29	<p><b>禁煙ガイドラインの作成</b></p> <p>目的・内容 本学会を含む国内9学会合同の作成班により「禁煙ガイドライン」を作成・発行する(作成班事務局は、日本循環器学会)。本学会は、禁煙治療の総論を担当するが、各論には「未成年者」や「妊婦」の禁煙治療の方法も掲載される。</p> <p>対象 診療や健康診断に従事する医師・歯科医師を対象としたガイドライン</p> <p>配布数 合同作成班として1000部(無償配布分)</p>
	6	<p><b>鉄道車両やホームの全面禁煙に関する要望活動(本学会も参加している国内9学会合同「禁煙ガイドライン」作成班として活動)</b></p> <p>目的・内容 学童生徒の通学路の駅ホームや修学旅行等にも利用されるJRの特急や新幹線が全面禁煙でないので、国内9学会が合同で全面禁煙化を求める要望活動を行った</p> <p>対象 JR各社(北海道,東日本,東海,西日本,四国,九州)の社長あて</p> <p>開催数 平成16年5月、平成17年2月。以上の2回にわたって要望書を送付し、回答を求めた</p> <p>効果 JR各社からは鉄道車両の全面禁煙化の回答がなかったものの、改善策に関する回答を得た。</p>	4, 13	<p><b>シンポジウムの開催</b></p> <p>目的・内容 本学会の第64回総会(17年9月、札幌)において、「少子社会における子どもの健全な発達」をテーマにシンポジウムを開催する。(子どもの「うつ」、思春期やせ症、テレビやビデオによる言葉の遅れ等の課題を取り上げる予定)</p> <p>対象 上記の総会参加者(400人程度)</p>
			3, 9	<p><b>フォーラムの開催</b></p> <p>目的・内容 本学会の第64回総会において、思春期・若年者のHIV感染の予防をテーマとした「感染症フォーラム」を開催する。</p> <p>対象 上記の総会参加者(250人程度)</p> <p>開催数 1回</p>

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）**  
**- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -**

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
26. (社)日本産科婦人科学会		<p><b>地方部会担当公開講座</b>            目的・内容：女性のライフサイクルにおける健康支援に関する話題を取り上げ、一般の方への啓発を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性のための健康講座（思春期の性、内臓症、更年期）（北海道）</li> <li>・女性の健康を考える（更年期、癌）（青森）</li> <li>・中高年女性の美容と健康（岩手）</li> <li>・妊娠中のあなたへのちょっとしたアドバイス（山形）</li> <li>・女性のための健康セミナー1（健康とスポーツ、がん予防）（茨城）</li> <li>・今、摂食障害を再考する（栃木）</li> <li>・食生活と癌（子宮体癌）（埼玉）</li> <li>・DVIについて学ぶ（千葉）</li> <li>・地域のお産を考える（静岡）</li> <li>・婦人科がん検診（富山）</li> <li>・母と娘の産婦人科フォーラム（子宮癌、卵巣癌、乳ガン）（石川）</li> <li>・抗癌剤の副作用に立ち向かって（岐阜）</li> <li>・子どもを育てることの楽しさと厳しさ（滋賀）</li> <li>・女性特有の痛みに対処する？ 月経痛、慢性骨盤痛から骨粗鬆症の痛みまで（大阪）</li> <li>・更年期を美しく健康に（奈良）</li> <li>・体にやさしい治療を求めて（和歌山）</li> <li>・女性の健康を考える（頸癌検診、性感染症）（鳥取）</li> <li>・女性のための健康講座（鳥根）</li> <li>・健康な赤ちゃんを産むために（岡山）</li> <li>・女性のためのがん予防講座（徳島）</li> <li>・みずみずしいお肌と健康を維持する（香川）</li> <li>・第18回性教育セミナー（愛媛）</li> <li>・骨粗鬆症について（高知）</li> <li>・自分の体と愛する人を大切にするために-性感染症とその影響-（福岡）</li> <li>・中高年の健康講座（更年期、骨粗鬆症）（佐賀）</li> <li>・他人に聞けない悩み（尿もれ、おりもの・かゆみ、子どもが出来ない）（熊本）</li> <li>・よい子を産むために（宮崎）</li> <li>・「女性の性感染」(性感染と、子宮癌、不妊、妊娠、青少年期の教育と指導)（沖縄）</li> </ul> <p>対象：一般 総計2,951名+            開催数：全国28カ所で開催            効果：女性のライフサイクルにおける健康に関する専門的な情報の啓発を図ることができた。</p>		<p><b>地方部会担当公開講座</b>            目的・内容：女性のライフサイクルにおける健康支援に関する話題を取り上げ、一般の方への啓発を行う</p> <p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・婦人科がんで死なないためには安全な出産に向けて</li> <li>・卵巣癌の早期発見と治療（仮題）</li> <li>・岐阜県の性感染症の実態</li> <li>・婦人科癌に関する内容</li> <li>・21世紀の女性の健康（仮題）</li> <li>・癌の撲滅を目指して-子宮癌・卵巣癌の治療の現況-</li> <li>・女性の健康を考える</li> <li>・女性のための健康講座</li> <li>・婦人科がん検診</li> <li>・性差を考慮した女性医療</li> <li>・卵巣がんについて（未定）</li> <li>・第19回性教育セミナー</li> </ul> <p>対象：一般            開催数：全国30カ所で開催予定</p>

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）**  
**- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -**

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
28. 日本思春期学会	2, 3, 6, 7, 8, 9, 10, 11	<p><b>市民公開講座「思春期の生活と健康」</b>  <b>思春期の睡眠障害 ～その予防と対応</b>  <b>思春期に「タバコの実態」を ～四十万人の禁煙教育から</b>  <b>学校、家庭、地域で取り組む性教育・思春期保健</b>  <b>思春期における性感染症の現状</b>  <b>思春期の骨と食生活</b>  <b>学校保健と地域保健が取り組む思春期の健康課題</b></p> <p>目的・内容：            対象：第23回日本思春期学会がつくば市で開催されるにあたり、市民と会員を対象とした公開講座を開催した。            開催数：一般市民と会員を対象に403名            効果：日本思春期学会の活動内容を周知できたこと。思春期にかかるテーマが多様であることを知らせることができた。</p>	2, 3, 8, 9, 10, 12, 27, 28, 60, その他	<p><b>市民公開講座「これからの子育て」</b>  <b>食べる力を育てる</b>  <b>事故にあわないために</b>  <b>親が子どもにできること</b>  <b>思春期の性への理解</b>  <b>世代を越えて支え合う思春期の健康</b></p> <p>目的・内容：子育てに焦点を絞って、現代的課題について学ぶ            対象：第24回日本思春期学会の一環として開催される市民公開講座。対象者は会員と一般市民500名程度            開催数：参加予定人数は公開講座500人、学術集会500名</p>
	13, 45～47, 60, 61	<p><b>特別講演 疾走能力の発達～走り始めから思春期まで</b>  <b>教育講演 思春期の婦人科腫瘍と腹腔鏡下手術</b>  <b>シンポジウム「青少年の体力低下および体力づくり」</b>  <b>子どもの体力の経年的変化</b>  <b>ジュニア選手の体力</b>  <b>子どものトレーニング</b>  <b>子どもの体力と免疫</b>  <b>子どものけがと体力、身体特性</b></p> <p><b>パネルディスカッション 若年者における生活習慣病</b>  <b>小児、思春期の肥満</b>  <b>小児、思春期の糖尿病</b>  <b>小児、思春期の高脂血症</b>  <b>小児、思春期の高血圧</b></p> <p><b>パネルディスカッション 思春期の心の発達と生活を支える～サポートネットワークの充実をめざして</b>  <b>被虐待児のトラウマへの対応</b></p> <p>目的・内容：第23回日本思春期学会がつくば市で開催されるにあたり、会員を対象とした講演会等            対象：日本思春期学会会員            開催数：1回（茨城県）            効果：学会長がスポーツ医学の専門家であることから、特にスポーツと思春期をテーマにした課題について研鑽を積むことができた。また、思春期の心の問題についても学ぶ機会を得た。</p>	2～11, 13, 46, 48～51, 60, 61	<p><b>会長講演「青少年の生活習慣と健康」</b>  <b>教育講演2「心のケアと父親の役割」</b>  <b>シンポジウム1 性教育は転換期を迎えたか</b>  <b>健康教育の立場から</b>  <b>性教育の立場から</b>  <b>教育現場の立場から</b>  <b>地域保険の立場から</b></p> <p><b>シンポジウム2 思春期女性クリニックのプライマリ・ケア</b>  <b>今、なぜ思春期クリニックは必要なのか</b>  <b>思春期婦人科疾患を中心に</b>  <b>性感染症を中心に</b>  <b>避妊と中絶を中心に</b></p> <p><b>シンポジウム3 青少年の健康リスク</b>  <b>青少年の喫煙行動の問題</b>  <b>青少年の飲酒行動の問題</b>  <b>青少年の薬物使用の問題</b>  <b>青少年のこころの問題、睡眠障害</b></p> <p>目的・内容：第24回日本思春期学会学術集会の一環として、各項目に挙げたテーマに沿って学ぶ。            対象：第24回日本思春期学会に参加する会員を対象として実施する。500名程度            開催数：参加予定人数は公開講座500人、学術集会500名</p>

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）**  
**- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -**

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
29. 日本児童青年精神医学会		<b>学会総会による思春期外来や病棟の整備に関わる臨床技術の育成</b> 目的・内容 学会総会において、研究発表の場を設けた、教育講演により児童思春期臨床家の資質向上に努めた、シンポジウムとして思春期病理と治療技術の理解と向上に努めた。 対象 学会会員 2,700名、総会出席者 1,100名 開催数 :1回開催 (愛知県名古屋市) 効果 思春期臨床のあり方についての理解や連携に向けて認識を高めることができた	13, 45, 56, 58	<b>第46回日本児童青年精神医学会総会開催 (平成17年11月9日～11日)</b> 目的・内容 学会総会の場を通じて思春期外来や病棟の整備に関わる臨床技術の育成。児童虐待に関連の委員会活動およびセミナー開催 対象 学会会員および総会開催地区市民など、計1,200名 開催数 学術総会開催1回。委員会活動(教育、福祉、法と人権などの委員会)それぞれ3～4回の開催
30. (社)日本小児科医会			4, 9, 12	<b>第5回思春期の臨床講習会 市民公開フォーラム</b> 目的・内容 市民、関係職種が一同に会し、同一研修をする。もって思春期問題の対応にあたる 対象 市民、専門職、小児科医師約250名 開催数 :1日間
31. (社)日本小児科学会	1, 13	<b>フォーラム「いま子ども達へ伝えること-いのちの本当の大切さ-」開催</b> 目的・内容 いのちと死についての教育 対象 :一般市民170名 開催数 :1回 (第22回日本小児心身医学会との共催)	6, 29, 60	<b>こどもをタバコの外から守る委員会 (日本小児保健協会、医師会との合同活動)</b> 目的・内容 :こどもの喫煙防止、受動喫煙防止、などのための啓蒙活動、禁煙指導 対象 :こども、一般市民、行政、医師
			1, 4, 42, 59	<b>育成医療の在り方に関する委員会による活動</b> 目的・内容 :一般小児科医の必須条件としてのこどもの心の問題を扱える小児科医の育成 対象 小児科医、特に初期臨床研修医および小児科専門医
			4, 45, 60, 61	<b>フォーラム「一貫した成長曲線を作成しよう」</b> 目的・内容 :成長曲線を作ることによって、摂食障害、ネグレクト、肥満の早期発見ができるので、これを作ることの意義を啓蒙する 対象 :一般市民、養護教員、小児科医、初期研修医 開催数 :1回
34. (社)日本小児保健協会	4, 13, 59	<b>不定愁訴をもつ子どもへのアプローチ</b> 目的・内容 心身症、不登校、摂食障害 対象 小児保健関係者 配布数 小児保健シリーズ1000部	4, 13, 59	<b>小児のメンタルヘルス</b> 内容 不登校、思春期やせ、こころ 対象 小児保健関係者 配布予定 冊子1500部

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）**  
**- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -**

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
36. (社)日本助産師会	2, 3, 8, 9	<b>4つのテーマの共通の取り組みを行った。</b> <b>1. 無料電話相談事業</b> <b>2. 出張思春期教育の実施</b> <b>3. 思春期相談員の育成</b> 目的・内容：1. 十代の人工妊娠中絶の予防 / 2. 十代の性感染症の予防 / 3. 避妊法に対する若者の知識・技術の普及・啓発 / 4. 性感染症に対する若者の知識の普及・啓発 対象：1. 10代の若者 / 2. 思春期相談員 開催数：1. 支援センター47都道府県 / 2. 性教育 2,922件 / 3. 電話相談 20,467件 / 4. 来所相談 19,483件 / 5. 訪問指導 1,2117件 効果：1 2 全県に支援センターが立ち上がり、身近で相談・指導が実施できるため対応件数が増加している。	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9	<b>無料電話相談事業</b> 目的・内容：思春期相談員が、無料電話相談を行う 対象：全国の思春期の子どもたち 開催数：全国47都道府県子育て・女性健康支援センターにおいて、月～金90%のセンター。残り10%は、週数回又は休日なしで実施予定
			1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9	<b>思春期教育のための教材開発（独立行政法人医療福祉機構の助成事業）</b> 目的・内容：思春期教育教材 小学生編 中学生編 高校生編 保護者編 タバコ・飲酒の害 ドラッグの害 望まない妊娠と人工妊娠中絶 思春期やせ症 性感染症の予防、をテーマにパワーポイントを使用した教材開発を行う 対象：小学生、中学生、高校生、保護者 開催数：1 検討会及び開発のための会議6回 2 47都道府県、関連団体、厚生労働省、都道府県、助産師教育機関に配布。
			1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9	<b>研修会「伝えよういのちの教育」（独立行政法人医療福祉機構の助成事業）</b> 目的・内容：思春期指導員の資質向上のための研修会開催 対象：思春期相談員 開催数：福島県、東京都、大阪府、福岡県の四箇所で開催予定。4回
37. 日本性感染症学会	3, 9	<b>講演会「市民と高校生のためのエイズ・性感染症フォーラム」</b> <b>主催：(財)性の健康医学財団・日本HIVネットワーク研究会他</b> 目的・内容：性感染症予防啓発のために同講演に於いて当学会の熊本悦明名誉会員が講演を行った。 対象：高校生 一般市民 220名 開催数：1回(熊本県) 効果：性感染症予防の必要性について認識を高めることができた。	3, 9	<b>具体的には決まっていますが、本年度も講演会・市民講座等に講師を派遣し、性感染症予防の普及啓発に力を注ぎます。</b>

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）**  
**- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -**

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
37.日本性感染症学会	3, 9	<b>千葉県STI(性感染症)研究会第1回学術集会」主催：千葉県STI(性感染症)研究会</b> 目的・内容 性感染症予防啓発のために同講演に於いて当学会の川名尚常任理事が講演を行った。 対象 医療 保健関係者他128名 開催数 1回(千葉県) 効果 性感染症予防の必要性について認識を高めることができた。		
	3, 9	<b>公開講座「性感染症：エイズ 知るう 話そう 予防しよう」主催：(財)性の健康医学財団・豊島区</b> 目的・内容 性感染症・エイズ予防啓発のために同公開講座に於いて当学会の赤枝恒雄評議員 根岸昌功理事が講演を行った。 対象 保健関係者 一般市民 100名 開催数 1回(東京都) 効果 性感染症予防の必要性について認識を高めることができた		
	3, 9	<b>第6回性科学セミナー」主催：日本性科学連合</b> 目的・内容 性感染症予防啓発のために同セミナーに於いて当学会の川名尚常任理事 岩室紳也評議員 島典子会員が講演をした。 対象 医療 保健関係者 開催数 1回(東京都) 効果 性感染症予防の必要性について認識を高めることができた		
	3, 9	<b>「ガイドラインセミナー」主催：福岡STD研究会</b> 目的・内容 性感染症予防啓発のため同セミナーに於いて当学会の野口昌良常任理事が講演した。 対象 医療 保健関係者 約150名 開催数 1回(福岡県) 効果 性感染症予防の必要性について認識を高めることができた		

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）**  
**- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -**

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
38. 日本赤十字社	10	<p><b>平成16年度青少年赤十字トレーニング・センター指導者養成講習会</b>            目的・内容 赤十字と青少年育成事業について理解し、各都道府県において青少年赤十字活動の指導・推進を行う指導者を育成する。プログラム中、青少年赤十字の資材である『健康安全プログラム』を使用した健康・安全についての指導方法伝達の時間を設け、同プログラムの一層の普及を図る。            対象 青少年赤十字指導者(青少年赤十字加盟校の教諭)46名            開催数 :1回            効果 青少年が『健康・安全』について考え、実践するように指導する契機となった。</p>	10	<p><b>平成17年度青少年赤十字トレーニング・センター指導者養成講習会</b>            目的・内容 赤十字と青少年育成事業について理解し、各都道府県において青少年赤十字活動の指導・推進を行う指導者を育成する。プログラム中、青少年赤十字の資材である『健康安全プログラム』を使用した健康・安全についての指導方法伝達の時間を設け、同プログラムの一層の普及を図る。            対象 青少年赤十字指導者(青少年赤十字加盟校の教諭)約50名            開催数 :1回</p>
	10	<p><b>平成16年度青少年赤十字指導者中央講習会</b>            目的・内容 赤十字と青少年育成事業について理解し、各都道府県において青少年赤十字活動の指導・推進を行う指導者を育成する。プログラム中、青少年赤十字の資材である『健康安全プログラム』を使用した健康・安全についての指導方法伝達の時間を設け、同プログラムの一層の普及を図る。            対象 青少年赤十字指導者(青少年赤十字加盟校の教諭) 30名            開催数 :1回            効果 青少年が『健康・安全』について考え、実践するように指導する契機となった。</p>	10	<p><b>平成17年度青少年赤十字指導者中央講習会</b>            目的・内容 赤十字と青少年育成事業について理解し、各都道府県において青少年赤十字活動の指導・推進を行う指導者を育成する。プログラム中、青少年赤十字の資材である『健康安全プログラム』を使用した健康・安全についての指導方法伝達の時間を設け、同プログラムの一層の普及を図る。            対象 青少年赤十字指導者(青少年赤十字加盟校の教諭)約50名            開催数 :1回</p>
	10	<p><b>各都道府県支部主催 メンバー対象講習会・研修会、指導者(教諭)対象講習会・研修会</b>            目的・内容 研修プログラムの中に、健康・安全についての知識や指導方法を伝達する時間を設ける。            対象 青少年赤十字メンバー(青少年赤十字加盟校の児童・生徒)と指導者(青少年赤十字加盟校の教諭)            効果 青少年が『健康・安全』について考え、実践する、またそのように指導する契機となった。</p>	10	<p><b>各都道府県支部主催 メンバー対象講習会・研修会 指導者(教諭)対象講習会・研修会</b>            目的・内容 研修プログラムの中に、健康・安全についての知識や指導方法を伝達する時間を設け、同プログラムの一層の普及を図る。            対象 青少年赤十字メンバー(青少年赤十字加盟校の児童・生徒)と指導者(青少年赤十字加盟校の教諭)</p>
42. (財)日本母子衛生助成会	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9	<p><b>リーフレット『ティーンズヘルスノート』</b>            目的・内容 高校男女生徒に『健康は自分で育て、自分で守ろう』との意識向上を図る。            対象 自治体 高等学校を通じて住民・生徒に配布(90万人)            配布数 :90万部            効果 思春期のからだ、健康、性感染症等についての正確な情報と健康維持について役立った。</p>	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9	<p><b>リーフレット『ティーンズヘルスノート』</b>            目的・内容 高校男女生徒に『健康は自分で育て、自分で守ろう』との意識向上を図る。            対象 自治体 高等学校を通じて住民・生徒に配布(875,000人)            配布数 :875,000部</p>



健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）

- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
43. 日本母性衛生学会	4	<b>第17回福井県母性衛生学会総会・学術講演会</b> 目的・内容：ヤセと卵巣機能-ダイエットの恐怖- 対象：医師・助産師・看護師・保健師など 開催数：平成16年7月4日 効果：ダイエットの恐ろしさがよく理解できた	2, 3, 8, 9, 10	<b>第46回日本母性衛生学会学術集会併設 市民公開講座</b> 目的・内容：若者たちの性が危ない-避妊と性感染症を考える- 対象：約200名（一般市民）平成17年10月7日 開催数：一般市民に対して若者たちの性の現状を報告し、総合討論する
	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13	<b>第45回日本母性衛生学会学術集会</b> 目的・内容：Virtual Image 時代の思春期の性の問題とその対応 対象：約2000名（医師・助産師・看護師・保健師など） 開催数：平成16年9月16・17日 効果：シンポジウムを行い、総合討論を行った。		
	6	<b>第45回日本母性衛生学会学術集会</b> 目的・内容：母子の健康と喫煙対策 禁煙支援 対象：約2000名（医師・助産師・看護師・保健師など） 開催数：平成16年9月16・17日 効果：シンポジウムを行い、総合討論を行った。		
	6	<b>第8回佐賀県母性衛生学会 総会並びに学術集会</b> 目的・内容：妊婦の禁煙支援 -妊婦の禁煙支援は思春期から- 対象：医師・助産師・看護師・保健師など 開催数：平成16年6月26日 効果：シンポジウムを行い、総合討論を行った。		
46. (社)日本薬剤師会	5 (薬物乱用防止)	<b>「薬剤師のための薬物乱用防止研修会」の開催</b> 目的・内容：児童・生徒の薬物乱用防止に向けた指導者の育成 対象：学校薬剤師など 300名 開催数：1回（愛知県） 効果：薬物乱用防止研修会を受講した薬剤師が講師となり、学校教育の一環として児童・生徒対象の薬物乱用防止の啓発活動を実施	5 (薬物乱用防止)	<b>「学校薬剤師部会研修会」(昨年度まで実施していた「薬剤師のための薬物乱用防止研修会」より名称変更)の開催</b> 目的・内容：児童・生徒の薬物乱用防止に向けた指導者の育成 対象：学校薬剤師など 100名 開催数：1回（東京都）
	5 (薬物乱用防止)	<b>「薬と健康の週間」における事業</b> 目的・内容：薬物乱用防止をテーマとした啓発事業、講習会等を各都道府県薬剤師会・地域薬剤師会等で実施 対象：一般市民 開催数：各都道府県薬剤師会・地域薬剤師会等で実施 効果：シンナー・覚醒剤等の恐ろしさを周知し、特に青少年に対して薬物乱用防止を啓発	5 (薬物乱用防止)	<b>「薬と健康の週間」における事業</b> 目的・内容：薬物乱用防止をテーマとした啓発事業、講習会等を各都道府県薬剤師会・地域薬剤師会等で実施 対象：一般市民 開催数：各都道府県薬剤師会・地域薬剤師会等で実施

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）**  
**- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -**

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
46. (社)日本薬剤師会	6 (喫煙防止)	<b>小冊子「喫煙と健康」いや！たばこの煙</b> 目的・内容 都道府県薬剤師会・地域薬剤師会が実施する市民向け講習会や、学校薬剤師が担当校において授業で使用するなどして、たばこや受動喫煙による健康影響について情報伝達を行うなど、未成年者の喫煙防止に関する啓発活動を実施 対象：一般市民、児童 生徒 開催数：2種それぞれ20都道府県で約12000部を配付。 効果 喫煙に至らないための指導および家族の喫煙による受動喫煙の影響等についての知識普及	6 (喫煙防止) 課題3の29にも関連	<b>小冊子「喫煙と健康」いや！たばこの煙</b> 目的・内容 都道府県薬剤師会・地域薬剤師会が実施する市民向け講習会や、学校薬剤師が担当校において授業で使用するなどして、たばこや受動喫煙による健康影響について情報伝達を行うなど、未成年の喫煙防止に関する啓発活動を実施 対象：一般市民、児童 生徒 配布数：2種各20000部予定
	6 (喫煙防止)	<b>展示パネル「喫煙防止啓発パネル」の活用</b> 目的・内容 都道府県薬剤師会及び支部薬剤師会に対して無償貸与し、健康に関する行事等において展示・活用 開催数：4都道府県 効果：一般市民に対し、喫煙防止を広く啓発	6 (喫煙防止)	<b>展示パネル「喫煙防止啓発パネル」の活用</b> 目的・内容 都道府県薬剤師会及び支部薬剤師会に対して無償貸与し、健康に関する行事等において展示・活用 開催数：10都道府県予定
			6 (喫煙防止)	<b>学校薬剤師部会研修会」の開催</b> 目的・内容：一般市民及び青少年を対象とした喫煙防止教育に関する講義を設け、指導者を育成 対象：学校薬剤師など 100名 開催数：1回（東京都）
48. (財)母子衛生研究会	1～4, 15, 16, 18, 28, 35, 37, 38, 45, 48, 49, 55	<b>母子保健指導者研修会」開催</b> 目的・内容：健やか親子21」の課題をふまえ、地域母子保健活動の一層の向上を図る 対象：保健師、助産師、看護師、保育士等母子保健関係者9,200名 開催数：46回開催（新潟県を除く全都道府県） 効果 地域母子保健活動の向上に寄与できた	1～4, 15, 16, 18, 28, 35, 37, 38, 45, 48, 49, 55	<b>母子保健指導者研修会」</b> 目的・内容：保健、教育、福祉等の分野を越えた連携を図り、母子保健の諸問題への対応。 対象：保健師、助産師、看護師、保育士等母子保健関係者 10,000名 開催数 年間47回

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）**  
**- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -**

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
49. (社)母子保健推進会議	2,3,8,9,10,16,44,45,46,52,53,	<b>地区別母子保健事業研修会</b> 目的：「健やか親子21」は各地域でそれぞれの特性を生かしながら推進されている。関係機関の連携を深め新しい知識を共有することを目的とする。 内容：母子保健における虐待予防、EPDS・MCGを用いた産後うつ・育児不安の軽減、ピアカウンセリングと思春期保健、周産期からの子育て支援等 対象：保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員、保育士等計約1,000名 開催数：6会場で開催（宮城県 群馬県 奈良県 香川県 佐賀県 札幌市） 効果：最新の情報を取得するとともに、近県の関係者が集まることで連携を深める機会	2,3,46,49,58,	<b>平成17年母子保健家族計画全国大会 - 健やか親子21全国大会</b> 目的：健やか親子21の推進、母子保健知識の普及・啓発、地域母子保健事業の推進を図る 内容：功労者表彰、特別講演、シンポジウム 対象：保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等1,000名 開催数：1回開催（奈良県）
	1,2,3,5,28,29,44,45,46,48,49,50,52,58,60,62	<b>母子保健推進員研修会</b> 目的：市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：虐待予防、育児不安の軽減、親と子のかかわり、思春期保健（薬物・自殺・性感染症）、母子歯科保健、食育などをテーマにした講演、シンポジウム、活動報告など 対象：母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等 5,600名 開催数：13回開催（山口県 佐賀県 群馬県 富山県 鹿児島県 岐阜県 宮城県 茨城県 長野県 青森県 沖縄県 栃木県 豊田市） 効果：母子保健推進員の資質の向上と母子保健推進員・保健師等の連携を深めることに寄与。	2,3,8,9,10,16,44,45,46,52,53,	<b>地区別母子保健事業研修会</b> 目的：「健やか親子21」は各地域でそれぞれの特性を生かしながら推進されている。そのため、関係機関の連携を深め、新しい知識を共有することを目的とする。 内容：母子保健における虐待予防、育児不安の軽減、ピアカウンセリングと思春期保健、周産期からの子育て支援を目指して など 対象：保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員、保育士等計約1,000名 開催数：5会場で開催（北海道 栃木県 石川県 鳥取県 長崎県）
	2,3,6,8,9,15,16,17,27,28,33,44,45,46,48,49,55,60,62	<b>組織育成費の助成</b> 目的：母子保健推進員組織の育成・支援、 内容：県レベルの母子保健推進員組織がある7県に対し、各10万円の助成を行った。 対象：佐賀県、和歌山県、山口県、富山県、長野県、沖縄県、新潟県の各母子保健推進員協議会 開催数：1回（7県） 効果：県レベルの協議会設置の必要性は皆が認識しながらも予算の捻出が困難であることが多く、同育成費は、母子保健推進員活動を支える大きな力となっている。	1,2,5,28,29,44,45,46,48,49,50,52,58,60,62	<b>母子保健推進員研修会</b> 目的：市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：虐待予防、育児不安の軽減、親と子のかかわり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマにした講演、シンポジウム、活動報告 対象：母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等5,000名程度 開催数：11回開催（佐賀県 富山県 山口県 鹿児島県 岐阜県 新潟県 宮城県 茨城県 長野県 青森県 沖縄県）

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）**  
**- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -**

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
49. (社)母子保健推進会議	1,2,3,5,8,9,15,16,18,27,28,29,33,40,43 ~ 53,58,60,62	<b>地域母子保健福祉情報紙 母推さん の発行</b> 目的 地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容 厚生労働省、専門職による情報提供、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など。 対象 都道府県 保健所・市町村 関係団体等へ月10,000部発行 発行数 :12回 (毎月1日10日発行) 効果 行政、専門職からの情報、地域における母子保健活動の実際を広く掲載し、毎号全国から多くの反響が寄せられている。	2,3,6,8,9,15,16,17,27,28,33,44,45,46,48,49,55,60,62	<b>組織育成費の助成</b> 目的 :母子保健推進員組織の育成・支援、 内容 :県レベルの母子保健推進員組織がある7県に対し、各10万円の助成を行う 対象 :佐賀県、和歌山県、山口県、富山県、長野県、沖縄県、新潟県の各母子保健推進員協議会 開催数 :1回 (7県)
			1,2,3,5,8,9,15,16,18,27,28,29,33,40,43 ~ 53,58,60,62	<b>地域母子保健福祉情報紙 母推さん の発行</b> 目的 地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容 厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など 対象 都道府県 保健所・市町村 関係団体等へ月10,000部発行 発行数 :12回 (毎月1日10日発行)
54. 日本学校保健学会				<b>研究と実践</b> 目的 内容 :子どもの健康の現実を深く問い直し、それに関わる内容
				<b>第52回日本学校保健学会</b> 目的 内容 :市民向けフォーラム、シンポジウム開催。10月28日～30日 仙台 対象 :学会員、一般 約1200人
			6	<b>学校内の喫煙防止の啓蒙活動</b>
55. 日本小児神経学会			学校を舞台にした健康管理	<b>公開シンポジウム 学校での早期発見、早期対応</b> 目的 内容 :児童が学校生活を通して、早期に発見できる疾患や、早期に対応できる事柄について討論し、小児の健やかな発達の支援を目指す。 対象 :日本小児神経学会会員および一般市民 開催数 :1回開催、熊本県

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）**  
**- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -**

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
58 .性と健康を考える女性専門家の会	2 .3, 8	<b>シンポジウム 子どもたちと共に学ぼう 生きるということ、性のこと」</b> 目的・内容・子どもに教える前にまず大人が学ばなければいけない性の現状と知識を伝達する。 講演 1「性の何を教えるか、教えないのか」岩室紳也 / 講演 2「HIV/AIDSと若者の性」根岸昌功 / 講演 3「小さいころからの性教育の実践」川島広江 / 講演 4「小・中・高校および家庭での性教育」岡多枝子 / ディスカッション 対象 :保護者、学校関係者、思春期保健、医療に携わる専門職等 200名 開催数 開催地 :東京 平成 16年 5月 22日 (土) 13:30~ 17:00 主婦会館プラザエフ 9階 スズラン 効果 :性の教育について保護者、学校、医療機関でそれぞれの役割を認識できた。	2 .6 .7	<b>シンポジウム 若者の「自分力」を高める～大人のための十代サポート塾」</b> 目的・内容 :若者が大人に求めるコミュニケーション」パースセンス 研究所大葉ナナコ 「心の力を育てる喫煙防止教育」和歌山県田辺市立第三小学校 北山敏和 パネルディスカッション～若者の性と健康のキーワード「SAPPS」を考えよう 1. ジェンダーとたばこ 小張総合病院健康管理部 小西明美 2. STD予防に大切なこと 筑波大学大学院 野々山未希子 3. Peer Education～若者のセルフケアをサポートするには 国際医学生連盟日本・SCORA 青木美南子・藤井まりえ 対象 :一般、保健医療従事者、学校関係者約 200名 開催数 開催地 :東京 プラザエフ 平成17年 5月 21日
	1 .2 .3	<b>講演会 思春期のこころとからだ」</b> 目的・内容・思春期のこころとからだ (講師・立命館慶祥中学高等学校 副校長 竹中 宏文) 対象 :保護者、女性団体など 30名 開催地 :札幌 平成 16年 9月 4日 (札幌市男女共同参画センターフェスティバルワークショップの一つとして開催) 効果 :思春期について現職の教師から実態や対応を知ることができた。	3	<b>VTR教材仮題 性感染症」</b> 目的・内容 :10代向けに、性感染症予防の知識を提供する。 対象 :10代・思春期を対象。中学・高校・大学、保健センターなどで活用予定 配布数 :18年 3月に 700本作成し、販売予定
	3	<b>講演会 考えよう 実践しよう 私たちにできること ～Heart for HIV/AIDS～ HIV/AIDS 予防・支援の課題と展望」</b> 目的・内容 講演「人間的な視点を持った予防啓発活動 - HIV/AIDS と共に生きる私達 - 」ジョゼ・アラウージョ・リマ・フィーリョ シンポジウム「メモリアルキルトジャパン(MQJ)」詩口淳子 / 性感染症予防啓発ボランティアBASE KOBE 繁内幸治 / 大阪府立松原高校 るるくめいと平野智之 対象 :一般、保健医療従事者、学校関係者など 200人 開催地 :大阪 2004年 12月 11日 (土) 13:00-16:30 場所 :レモンホール 協力団体 :NPO法人CRIATIVOS (クリアチヴォス) 効果 :HIV/AIDSについて内外の実践を学び、わたしたちにできることを認識した。		

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）**  
**- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -**

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
62. (社)日本女医会	2.3.9	<b>講演会「10代の性と健康指導者 養成講座・第9回」</b> 目的・内容：「リプロダクティブヘルス/ライツ」の基本的概念を理解した上で「女性の健康支援」を図る 対象：医師、養護教諭、看護師、保健士、助産士、大学講師、学生等約100名。会員、関係団体 開催数：1回（東京都） 効果：性教育の内外の実状を理解し、今日本の抱えている課題を提起することができた。	2.3.9	<b>講演会「10代の性と健康指導者 養成講座・第10回」</b> 目的・内容：生涯を通じての女性の健康支援を行う 対象：医師、養護教諭、看護師、保健士、助産士等150名 開催数：1回
			46,48,49	<b>ワークショップ及び公開講演会「病児保育の現状と展望」(仮称)</b> 目的・内容：子どもの心身の健全な育成を目標にして、働く女性を支援する 対象：医師、看護師、保育士、母親等200名 開催数：各1回
65. (社)日本泌尿器科学会	9	<b>卒後教育プログラム「尿路性器感染症」</b> 目的・内容：尿路性器感染症診療ガイドラインについてその目的や有用性を解説する。 対象：日本泌尿器科学会会員ならびに関係者など約300名 開催数：1回開催（大阪府） 効果：男性性感染症に関する疫学調査、診断、治療などについてそれぞれの立場で理解を高めることが出来た。	9	<b>卒後教育プログラム「尿路性器感染症」</b> 目的・内容：尿路性器感染症診療ガイドラインについてその目的や有用性を解説する。 対象：日本泌尿器科学会会員ならびに関係者など約300名 開催数：1回

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）**  
**- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -**

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
67.全国母子保健推進員連絡協議会	2,3,8,9,10,16,44,45,46,52,53,	<b>地区別母子保健事業研修会</b> 目的：「健やか親子21」は各地域でそれぞれの特性を生かしながらか推進されている。そのため関係機関の連携を深め新しい知識を共有することを目的とする。 内容：母子保健における虐待予防、EPDS・MCGを用いた産後うつ・育児不安の軽減、ピアカウンセリングと思春期保健、周産期からの子育て支援 など 対象：保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員、保育士等計約1,000名 開催数：6会場で開催（宮城県 群馬県 奈良県 香川県 佐賀県 札幌市） 効果：最新の情報を取得するとともに、近県の関係者が集まることで連携を深める機会	2,3,46,49,58,	<b>平成17年母子保健家族計画全国大会 - 健やか親子21全国大会</b> 目的：健やか親子21の推進、母子保健知識の普及 啓発、地域母子保健事業の推進を図る 内容：功労者表彰、特別講演、シンポジウム 対象：保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等1,000名 開催数：1回開催（奈良県）
	1,2,3,5,28,29,44,45,46,48,49,50,52,58,60,62	<b>母子保健推進員研修会</b> 目的：市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：虐待予防、育児不安の軽減、親と子のかかわり、思春期保健（薬物・自殺・性感染症）、母子歯科保健、食育などをテーマにした講演、シンポジウム、活動報告など 対象：母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等5,600名 開催数：13回開催（山口県 佐賀県 群馬県 富山県 鹿児島県 岐阜県 宮城県 茨城県 長野県 青森県 沖縄県 栃木県 豊田市） 効果：母子保健推進員の資質の向上と母子保健推進員 保健師等の連携を深めることに寄与。	2,3,8,9,10,16,44,45,46,52,53,	<b>地区別母子保健事業研修会</b> 目的：「健やか親子21」は各地域でそれぞれの特性を生かしながらか推進されている。そのため、関係機関の連携を深め、新しい知識を共有することを目的とする。 内容：母子保健における虐待予防、育児不安の軽減、ピアカウンセリングと思春期保健、周産期からの子育て支援を目指して など 対象：保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員、保育士等計約1,000名 開催数：5会場で開催（北海道 栃木県 石川県 鳥取県 長崎県）
	1,2,3,5,8,9,15,16,18,27,28,29,33,40,43～53,58,60,62	<b>地域母子保健福祉情報紙「母推さん」の発行</b> 目的：地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など。 対象：都道府県 保健所 市町村 関係団体等毎月10,000部発行 開催数：12回（毎月1日10日発行） 効果：母子保健推進会議に協力し制作した本紙は、情報収集、アイデアの提供にもなり毎号全国から多くの反響が寄せられている。	1,2,5,28,29,44,45,46,48,49,50,52,58,60,62	<b>母子保健推進員研修会</b> 目的：市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：虐待予防、親と子のかかわり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマにした講演、シンポジウム、活動報告 対象：母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等5,000名程度 開催数：11回開催（佐賀県 富山県 山口県 鹿児島県 岐阜県 新潟県 宮城県 茨城県 長野県 青森県 沖縄県）

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）**  
**- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -**

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
67.全国母子保健推進員連絡協議会			1,2,3,5,8,9,15,16,18,27,28,29,33,40,43～53,58,60,62	<b>地域母子保健福祉情報紙 母推さん の発行</b> 目的 地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容 厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など。 対象 都道府県 保健所 市町村 関係団体等 毎月10,000部発行 開催数 :12回 (毎月1日10日発行) 効果 母子保健推進会議に協力し制作した本紙は、情報収集、アイデアの提供にもなり毎号全国から多くの反響が寄せられている。
69.日本性教育協会	2,3,5,8,9,11	<b>第34回全国性感育研究大会</b> 目的 内容 基本テーマ「性教育、その新たな発展をめざして」 対象 教育 保健関係者、PTA等 400名 開催数 :8月4日(水)～6日(金) 山口県山口市	2,3,5,8,9,11	<b>第35回全国性感育研究大会</b> 目的 内容 基本テーマ「人間と性」愛と命を育む性教育をめざして 対象 教育、保健関係者、PTA等 約600名 開催数 8月3日(水)～5日(金) 神奈川県川崎市
	2,3,5,8,9,11	<b>最新Sexual Health教育の実践的進め方</b> 目的 内容 ぶれいす東京と共催 対象 教育関係者等 40名/回 計150名参加 開催数 :4回開催	2,3,5,8,9,11	<b>最新Sexual Health教育の実践的進め方</b> 目的 内容 ぶれいす東京と共催 対象 各回40名(学校教育、保健関係者等) 開催数 4回開催
	2,3,5,8,9,11	<b>第5回性科学セミナー</b> 目的 内容 基調講演「思春期の性をポジティブに生きる」(松本清一氏) 開催数 :11月6日(土)	2,3,5,8,9,11	<b>第7回アジア・太平洋地域エイズ国際会議 サテライト・シンポジウム</b> 開催数 :7月3日(日) 神戸国際会議場
	2,3,5,8,9,11	<b>世界エイズデーシンポジウム</b> 目的 内容 文部科学省、日本学校保健会と共催 対象 教育関係者等 750名 開催数 :11月30日(火) 国立オリンピック記念青少年総合センター	2,3,5,8,9,11	<b>世界エイズデーシンポジウム</b> 目的 内容 文部科学省、日本学校保健会と共催 対象 教育関係者等 250名 開催数 国立オリンピック記念青少年総合センター